

## 2024年3月18日卒業式来賓挨拶

学校法人大阪観光大学理事長の山本です。さきほど大阪観光大学の学長、山田先生から挨拶がありました。学長に続いて理事長とは、なんてと思われることでしょうか。学校法人ってなに、理事長とはなに。学長とどう違うのと疑問に思われるかと思います。少し説明します。日本の学校制度の勉強だと思って聞いてください。

日本では学校（大学もそのひとつですが）、学校を設置することができるのは、国、地方公共団体、そして本学のような私立学校を設置する学校法人だけです。国や自治体以外で学校を作ろうとすると、学校法人という組織をつくらないといけないのです。この学校法人理事会が経営責任をもち、その責任者が理事長ということです。その学校法人が学校・大学を設置し、その学校・大学（みなさんの学びの場）に責任をもつのが学長なのです。ですから今日の卒業式は、大学の主催、理事長はゲストということになっています。

さて本日は、日本を含めアジアの8か国（日本、中国、韓国、ベトナム、インドネシア、ミャンマー、ネパール、バングラディッシュ）からの学生が卒業します。卒業される学生のみなさんには、感謝とお祝いをおつたえしたいと思います。

また本日会場でご参列のご家族など卒業生をご支援いただいたみなさん、オンラインで参加されているご家族の方にも、同じ気持ちをお伝えしたいと思います。

今日卒業した多くの方は、2020年4月に入学されました。さきほど<感謝>とのべたのは、みなさんが入学された前後の本学の事情を鑑みてのことです。みなさんは、入学前も入学後も大きな心配と不安、困難に直面されたと思います。

入学されたときの大阪観光大学を設置する法人は、「学校法人明浄学院」でした。ところがみなさんもお記憶のように当時の法人の理事長の不正、理事会の混乱により、本学は存立の危機に直面しました。当時入学手続きはしたけれども、ほんとうに入学し学ぶことができるのだろうか心配されたのではないかと思います。幸いみなさんの入学の直前の20年の3月、なんとか本学の継続再建の道が開かれました。幸いみなさんの意欲的な学び、それを見守っていただいたご家族の応援、そして困難、不安にもかかわらず本学での職務を続けていただいた教職員、それを経営的地域的に支援していただいた本日来賓の方々のおかげで無事再建の道を切り開き、大学の再生を勝ち取りました。このように最も困難のなかに入学されたみなさんを、今日送り出すことができることを理事長として大きな喜びを感じるとともに、さきにあげたみなさんに深甚の感謝を申し上げたいと思います。

さてみなさんには、入学前の不安に続いて、入学後も大学生活自体も世界的なコロナパンデミックという、経験のない苦難が襲い掛かりました。入学式は中止を余儀なくされ、大学での対面授業の実施ではなくオンライン授業となりました。みなさんは、学生同士顔を合わせ、友と作り、友とともに学ぶという場をもつことできませんでした。下宿や自宅から自由に外出することもできず、アルバイトもできず、孤立と不安のなかでの大学生活のスタートであったのです。その後約2年自分の家族とも往来ができなかった留学生のみなさんの精神的負担は想像を絶するものがあったと思います。

教員のみなさんは慣れないオンライン授業の方法を学び実施し、職員は在宅勤務等不規則勤務のなかで、日常の業務、孤立する学生たちのケア等に取り組んでいただきました。あわせて教職員の方々には、経営的な再建にも参加していただけてきたのです。

かさねて卒業生のみなさん、そしてご家族、教職員、外から支援をしていただいたみなさんに感謝と敬意をお伝えしたいと思います。

二重三重の苦難を乗り越えたみなさんの経験は、大学の歴史に刻まれる価値あるものだと思います。卒業生のみなさんは、この経験を誇りある記憶として刻んでいただき、未来の困難を乗り切る糧にしていいただきたいと思います

いま再生大阪観光大学は、『大学憲章2020』で新たな大学の設立理念、教育の理念を宣言し、教育目標として、一人一人の個性、資質に基づき人生の開花、幸せの実現、観光という社会的営為という観点から「楽しむ力」を学び獲得することを設定、その着目と実践は、現代教育改革の遡及的なキーワードとして注目されています。また<観光の学>の確立へのアプローチ、新たな時代の観光事業展開の担い手の養成への貢献等によっても注目されてきています。これらは日本だけではなく、世界とりわけアジア全体を視野においた大学の構想であり事業なのです。

みなさんは、この4年間、10数の国・地域から構成される多文化のコミュニティのなかで学び、交遊を重ね卒業されます。本学卒業生には、観光産業、地域振興の担い手として新たな次元の、そしてアジア全域での期待と希望があるように思われます。おおいなる活躍を期待しています。

最後に、学びは大学卒業とともに終わりではありません。社会での仕事、活動の中で、また新たな学びの必要を感じるがあると思います。その際には、学び直したために本学に戻ってきてください。お待ちしております。

以上お祝いのことばといたします。

2024年3月18日

学校法人大阪観光大学理事長  
山本健慈